

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

No.2
Autumn
2019

市町村巡回相談

今年6月に大分県外国人総合相談センターが開設されました。毎週月曜日から土曜日の朝10時から夕方5時までセンターへの来所、電話やメールによる相談に加えて、下記のスケジュールで個別相談も行っています。

加えて、大分県内の市町村への巡回相談も行います。相談の日時や場所については、それぞれの市町村により異なりますので、以下の担当課にお問い合わせ下さい。

○別府市 産業政策課	○中津市 商工振興課	○日田市 商工労政課
○佐伯市 商工振興課	○臼杵市 産業促進課	○津久見市 商工観光・定住促進課
○竹田市 商工観光課	○豊後高田市 商工観光課	○杵築市 商工観光課
○宇佐市 商工振興課	○豊後大野市 商工観光課	○由布市 商工観光課
○国東市 活力創造課	○臼出町 商工観光課	○九重町 商工観光・自然観光課
○玖珠町 企画商工観光課		

専門家相談 中国語相談 タガログ語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。

※詳細はHPでご確認ください。

▶専門家相談

- 日時 毎週土曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

専門家相談については予約は要しませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶中国語相談

- 日時 毎週木曜日 10:00~13:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

▶タガログ語相談

- 日時 毎月第1土曜日、第3火曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

information

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <http://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)
10:00～17:00 (相談センター)
9:30～18:00 (国際交流プラザ)
※日曜、祝日および年末年始はお休みです



地域の日本語学習支援について

大分県外国人総合相談センターに寄せられる相談の中で、日本語学習に関することがあります。地域の日本語学習支援について、センター及びおおいた国際交流プラザの取り組みを紹介します。



○ 日本語学習の機会提供について

1. ボランティアが運営する日本語教室があります。センター及びプラザが、お近くの日本語教室をご紹介します。
2. プラザに登録している「日本語ボランティア」を紹介します。この場合、多くは個別のレッスンになります。
3. お住まい市町村によっては、市民団体や市役所が運営・支援する日本語教室があります。表紙ページに掲載しているセンター関係の市町村担当課にお問い合わせください。

○ おおいた国際交流プラザでの学習支援について

1. プラザスペースで学習する場所を提供します。予約は不要ですが、プラザスペースは多くの人が利用しますので、利用の際はお問い合わせ下さい。
2. 学習のサポートスタッフを紹介します。
3. 教材（テキストや副教材、絵本等）を準備しています。
4. 日本語学習者とサポートスタッフ等が交流するイベントを企画します。

○ その他の取り組み

おおいた国際交流プラザでは、以上のような個別の支援に加えて、地域における日本語学習支援者の養成や「やさしい日本語」の普及に取り組んでいます。詳細は、プラザホームページをご覧下さい。



THE TOMBO

Momentum and Finesse: The Colourful and Intricate Ritual of Yabusame

The Usa Nagoshi Matsuri is an annual grand festival held at the Usa Jingū that spans across three days in the height of summer. The days of celebration fell on July 31 to August 2 this year, and while the objective behind all the liveliness is to ward off evil and pray for the wellbeing of all who live in Japan, there is an additional highlight to this year's event.



In celebration of the start to the Reiwa era, *yabusame* was held at the shrine for the first time ever. A form of mounted archery in traditional Japanese archery, the first record of *yabusame* can be found in the *Shinsarugakuki* ('An Account of the New Monkey Music'), a Japanese work of literature that dates from the 11th century. While it is believed that the ritual was practiced from days before the Heian period (794~1185), its popularity truly gained momentum in the 1500s among samurais as a means of refining horseback archery in warfare. Today, *yabusame* is reserved for formal occasions as a ritual to appease the myriad of deities who watch over Japan. While many styles existed in the past, two styles, namely the Ogasawara and Takeda schools, remain popular to date.

The *yabusame* at Usa Jingū was of the Ogasawara school. Archers speed through a roughly 225-metre-long track at full gallop, controlling the horse using their knees as the hands are needed to draw the bow. Stationed along the left of the track are three targets, and upon approaching each in succession, the archer raises the bow to head level and lets out shouts of '*in-yo'oi!*' at the targets, signifying the yin and yang, light and darkness, before shooting the bow. According to the Japan Equestrian Archery Association, *yabusame* archers are required to maintain a riding form called *tachisukashi*, which demands that the rider lift their hips away from the saddle and avoid pressing their legs against the horse so the galloping motion does not thwart the aim. This special riding form is unique to Japanese horseback riding, and *yabusame* captures it perfectly.

With each cry of '*in-yo'oi!*' the *kabura-ya* arrow shot from the tension of the bow and soared through the air with a sharp trill. While it is said that the arrow itself and its characteristic auspicious whistle are capable of warding off evil, good luck is not the only thing *yabusame* has to offer – aside from witnessing the fruit of labour and partnership between the archers and horses, the ritual is also an experience that offers a glimpse into Japan's unique history and culture.



大分信息

志愿者活动与我

从中国来到大分，第一次参加志愿者活动是2002年世界杯足球赛（2002 FIFA World Cup Korea/Japan）在大分的会场做为汉语指南。当时刚刚30出头，正时年轻。面临着孩子小，工作忙，只能在周六周日的休息时间去做一些力所能及的事情。随之而来的是2008年第63回国民体育大会（チャレンジ！おおいた国体），通过这次志愿者活动，让我更进一步的体会到志愿者活动的内涵，融入了日本社会。

时隔多年，在工作繁忙和社会交往发生冲突的时候，恰逢公司面临倒闭和承受公司多方面歧视的时候，辞退了工作近20年的公司，考入別府溝部学園短期大学介護福祉学科，开始了我人生第一次的大学生活。虽然比班里的同学年龄大了许多，学习生活中遇到了旁人无法想象的阻力和困难，为之庆幸的是在家人和周围朋友的支持与鼓励下，圆满的完成了学业，成为一名介护福祉士，重新走进工作岗位，开始了人生新的起点。

在就学期间（2013年～2015年）巧合的机会结识了一位老师，承蒙这位老师的推荐，结识了大分市在住的老华侨黄梅雄先生。也是这位老者的一言：“只有持之以恒的努力，逐步让自己强大起来，才能让周围的人认可你的存在，否则永远会被歧视在阴暗的角落里”。也是从那以后加入了大分华侨华人会的志愿者行列，直到现在。通过各种交流活动也结识了许多日本友人，2017年加入了大分市日中友好协会，2018年成为大分县日中友好协会的理事。不求在志愿者活动中得到回报，只要能够把我的业余休息时间充分利用和搭配合理，也就心满意足了。

主要的目的是预防痴呆症尽早的出现在我自身。

池辺 立身

1970年中国黒龍江省牡丹江市生まれ。1993年両親・妹と日本へ引き揚げ、「福岡中國帰國者定着促進センター」（福岡県柏原郡宇美町 平成16年閉所）にて4ヶ月間基礎日本語と生活習慣を学ぶ。同年大分市に移住。翌年大分県立高等技術専門学校入校、三級自動車整備士習得後、日立製作所下請け企業就職。2013年別府溝部学園短期大学介護福祉学科入学、介護福祉士習得後、2015年社会福祉法人 新友会 ひまわり園（知的障害者入所施設）就職



汉语咨询

时 间：每周四10:00---13:00

场 所：大分国际交流广场

IICHIKO综合文化中心 地下1层

咨询担当：儿玉 文玉

费 用：免费

不需报名

想用汉语交谈吗，想倾诉生活烦恼吗，想解决在日发生的问题吗，来广场吧。

广场有可讲汉语的工作人员，所以刚来日本的朋友、不太懂日语的朋友都可来广场玩，如遇到困难了、或想介绍大分的好吃好玩的地方，当然是更受欢迎。

如想电话咨询请打097-533-4021

兒玉 (こだま ウェンユウ) 女士

如想网上咨询 : chugokugo@emo.or.jp

Festivals and Events

県内イベント案内

国東おだやか博2019

開催期間／9月7日(土)～2020年2月
場 所／プログラムにより異なる(国東市)
問い合わせ／国東市観光協会 TEL.0978-72-5186
URL / <http://visit-kunisaki.com/features/kunisaki-odayakahaku2019/>
今年で7回目の開催となる国東おだやか博。
国東のおだやかな時間、国東での暮らしを体験プログラムにして、
今年もたくさんのプログラムを用意します。
新規プログラムも多数。多方面から国東を体験してください！

OITA ART FESTIVAL2019 回遊劇場SPIRAL

開催期間／9月20日(金)～11月2日(土)
場 所／大分市中心市街地各所
問い合わせ／大分市アートを活かしたまちづくり推進会議 事務局 TEL.097-537-7294
URL / <https://www.facebook.com/kaiyukekijo/>
大分市中心市街地を舞台に、「インスタレーション・ウォールアート・アートイベント」の3つの要素を軸にした作品や、これまでのレガシーとしての「パブリックアート」作品を展開します。
ぜひ、作品に触れながら、“まちあるき”をお楽しみください。

SPORTS of HEART 2019 in 大分

開催期間／10月11日(金)～13日(日)
場 所／JR大分駅前広場とその周辺会場(中央通り・近隣小学校他)
料 金／無料※一部有料プログラム有り
問い合わせ／TEL.03-5784-3322 E-mail: soh@s-heart.org
Web: <https://s-heart.org>
障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツと文化の祭典「SPORTS of HEART」障がい者スポーツのパイオニアである大分での開催は3回目。「つながる」をテーマに、すべての人と感動を分かち合い、ムーブメントの輪をさらに大きく広げよう！

日田天領まつり

開催期間／11月9日(土)・10日(日)
場 所／日田市豆田地区・丸山地区
問い合わせ／日田市観光課 TEL.0973-22-8210
URL / <https://www.oidehita.com/archives/28058>
「日田天領まつり」とは、江戸時代、幕府の直轄地である「天領」だった日田の栄華を再現するお祭りです。夜には、豆田地区周辺と豆田町のそばを流れる花月川のほとりに、3万もの竹灯籠のあかりが灯る「千年あかり」も同時に開催いたします。一日を通して、日田の「動」と「静」を感じる旅を！



大分の郷土料理を一つあげるとすれば、だんご汁と答える方は多いのではないでしょうか。

米が不足していた時代に、小麦粉をこねて帯状に引き伸ばしただんごと根菜など季節の野菜を味噌（または醤油）仕立てで作り上げた素朴な味わいは、今では大分県民はもちろん観光客にも親しまれている郷土料理です。同じだんごを使ってきなこと砂糖をまぶして作るやせうまは、こちらもお馴染みのおやつとして家庭や学校給食などでも提供される地域に根付いた料理です。



江戸浮世絵の黄金時代

The Ukiyo-e 歌川派一豊春から国芳、広重まで

開催期間／2019年9月20日(金)～10月27日(日) [前期]9月20日～10月6日 [後期]10月8日～10月27日※休館日10月7日
場 所／大分県立美術館 3階 展示室B
料 金／一般800(600円) 大学・高校生500(300円) 中学生以下無料()内は20名以上の団体料金
問い合わせ／大分県立美術館 TEL.097-533-4500
開館時間／9:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)
URL / <http://www.opam.jp/exhibitions/detail/503>
浮世絵史上、最大の画派として栄えた「歌川派」の代表的な絵師たちを集める展覧会です。現代においても、決して輝きを失わない浮世絵芸術の粋をご堪能いただけます。

日本の美意識 刀剣と金工

開催期間／9月27日(金)～10月22日(火)
場 所／大分県立美術館 3階 コレクション展示室
料 金／一般800(600円) 大学・高校生500(300円) 中学生以下無料()内は20名以上の団体料金
問い合わせ／大分県立美術館 TEL.097-533-4500
開館時間／9:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)
URL / <http://www.opam.jp/exhibitions/detail/526>
日本独自の技術で作られた日本刀。
本展では、日本各地の名刀に加え、実用刀として高い評価を得た地元・大分の豊後刀も紹介します。

第10回 日本ジオパーク全国大会2019 おおいた大会

開催期間／10月31日(木)～11月5日(火)
場 所／iichiko総合文化センターほか大分市・豊後大野市・姫島村など
問い合わせ／大分県自然保護推進室 TEL.097-506-3025
URL / <http://www.pref.oita.jp/site/oita-geonet/>
日本ジオパーク全国大会は、全国のジオパーク関係者が集結し、ジオパークの活動について共有・議論しあう大会です。
各ジオパークの展示や体験コーナー、物産展など一般の方が楽しめるイベントも多数ありますので、ぜひ、足をお運びください。

第39回 大分国際車いすマラソン

開催期間／2019年11月16日(土)・17日(日)
16日16:00～開会式(ガレリア竹町ドーム広場) 16:20～パレード(市内中心部商店街) 17:00～有力選手記者会見(ガレリア竹町ドーム広場) 17日10:00マラソンスタート 10:03ハーフマラソンスタート(大分県庁前) 13:20～閉会式・表彰(大分市営陸上競技場)
場 所／大分県庁(スタート)
料 金／観覧無料
問い合わせ／大分国際車いすマラソン事務局 TEL.097-533-6006
URL / <http://www.kurumaisu-marathon.com/>
今では世界パラ陸連公認大会として、男女ともに世界記録を有し、国内外から最多の車いすアスリートが集結する世界最高峰の大会へと成長。沿道からエールを送ろう！



だんご汁・やせうま

国際交流団体紹介



大分県フィリピン友好協会

住所 別府市石垣東1-1-2-501号室

電話 080-3374-8048

メール success8life@yahoo.co.jp

設立年月日 1995年2月

会員数 528人

設立目的

- ・県内・国内に在住するフィリピン人で困っている人を助けること
- ・県内・国内に在住するフィリピン人でお互いを支えること
- ・祖国の貧しい所に自立支援をする
- ・日本で外国人でも社会貢献できるよう努力する

主な活動内容

- ・会合を開き、交流、相談、在住フィリピン人の支援活動をする
- ・12月はクリスマス会を開催

メッセージ

九州では一番早くできて、活発な活動をしています。

平成22（2010）年には、協会設立15周年記念大会を、在大阪フィリピン共和国総領事が出席してiichiko総合文化センターで盛大に祝いました。

住所 大分市大字竹中字上長谷613-1
やすらぎ園内

電話 097-598-0100

メール shimazaki@yasuragi-reien.jp

設立年月日 2012年12月

会員数 法人43人 個人127人

設立目的

大分県民とモンゴル総合生協学校児童生徒及びバヤンホンゴル県との相互交流により、両国児童生徒の健全育成と両国県民の友好連帯を深める。

主な活動内容

- ・両県児童生徒の相互交流
- ・モンゴル総合生協学校の支援
- ・県内在住モンゴル留学生及び県内へ留学予定のモンゴル学生との交流

メッセージ

当協会は、「旧大分モンゴル親善協会」の実績を受け継ぎ、バヤンホンゴル県総合生協学校などとの相互交流を行っています。また、県内のモンゴルからの留学生との交流も行っており、APUの「モンゴルウィーク」の支援などを通じ、日本とモンゴルの伝統文化の相互理解にも努めています。

JICAデスク 大分からこんにちは！

8月2日（金）から4日（日）までの3日間、iichiko総合文化センター1階のアトリウムプラザにて開催された「たなばた スターライト・エクスプレス2019」（主催：大分県芸術文化ゾーン創造プロジェクト実行委員会）にて、JICAブースを出展しました。

初日の2日（金）は13時から17時まで、3日（土）・4日（日）は10時から17時までの終日、「世界を身近に感じてみよう！」体験コーナーとJICA海外協力隊応募相談ブースを設けました。



体験コーナーでは、お子様から大人まで、アフリカンアートのぬり絵とSDGs（国連制定の「持続可能な開発目標」）のロゴデザインのさいころ作りに挑戦したり、親子で一緒に楽しむ様子が見られました。図画工作という身近なツールを通して、日本からは遠い国・地域に想いを馳せて少しでも身近に感じたり、一見難しく感じられるかもしれないSDGsについて知るきっかけとなっていたら幸いです。



海外協力隊応募相談ブースでは、秋募集（8/20～9/29）の要項一式を持ち帰ったり、熱心に質問する方々の姿がありました。協力隊の募集は年2回（春・秋）行っていますが、是非、多くの方に積極的にチャレンジしていただきたいと思っています。

3日間を通して、体験コーナーには162名、応募相談ブースには19名の方が訪れ、計181名の方々との出逢いがありました。ご来場下さった皆様、ありがとうございました。JICAデスク大分は、県内でのイベントへのブース出展を今後も積極的に行っていきたいと思います。



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター（B1F） おおいた国際交流プラザ内
担当：JICA九州・大分県国際協力推進員 井本
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

プラザだより



おおいた国際交流プラザではラグビーワールドカップ2019大分県開催に合わせて日本文化体験ブースを10月18日(金)から10月20日(日)の3日間、iichiko総合文化センター1階アトリウムプラザで開催します。ぜひこの機会に日本の伝統文化をお楽しみください。

詳細はQRコードで
ご確認ください



大分の夏の風物詩!第38回大分七夕祭りに合わせてiichiko総合文化センター1階アトリウムプラザで開催された「たなばた スターライト・エクスプレス2019」おおいた国際交流プラザからも5つの団体が参加し、国際色豊かなパフォーマンスで多くの観客を魅了しました。大分県インドネシア友好協会、日本ベトナム友好協会大分県支部、大分華僑華人会、大分中文学園、別府溝部学園短期大学の5つの団体はおおいた国際交流プラザとの関わりも深く、今回のパフォーマンスは大分県が目指す「多文化共生」の地域作りをアピールする絶好の機会になりました。

トップバッターを飾った大分県インドネシア友好協会はバリ舞踊を情緒たっぷりに踊っていただきました。バリ舞踊に魅せられ、本場バリで研鑽を積む踊りは大分に居ながら本場のパフォーマンスを堪能することができる贅沢な時間になりました。

日本ベトナム友好協会大分県支部からはベトナムの伝統的な舞踊と武術を2組に分かれて披露していただきました。流れるような動きと若さ溢れるパフォーマンスは力強さの中に団体パフォーマンスならではの調和のとれた動きが印象的でした。

最後を締めくくったのは、大分華僑華人会、大分中文学園、別府溝部学園短期大学の合同チームによるバラエティーに富んだパフォーマンスでした。中国の代表的な音楽にのせた子供たちの合唱から始まり、ネパールの民族ダンス、ギターの弾き語り、色とりどりのチャイナドレスを身にまとった圧巻のファッショ

ンショー、そして最後は観客も巻き込んで全員でハンカチを使った中国伝統舞踊ヤンガーウで幕を閉じました。

パフォーマンスに参加していただいた皆様、関係者の皆様、応援していただいた皆様、本当に素敵な時間をありがとうございました。



おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

Free Talk Classは、大分県所属の国際交流員と交流する企画です
イギリス、オーストラリア、中国、韓国出身のネイティブと交
流してみませんか。(各週で1言語)

日 時 毎週金曜日 13:30~15:00

定 員 各10名

場 所 iichiko総合文化センター 地下1階 おおいた国際交流プラザ

参加費 無料 ※詳細はHPをご覧ください。

●各種講座

▶中国語ステップアップ講座

日本人と中国人が気軽に集まって自由に話し合える「漢語角（中國語コーナー）」をイメージした講座を定期的に開催しています。中国出身の講師と歌や会話を通して楽しく言葉の勉強と異文化体験をしましょう。

▶韓国語トライアル講座

「韓国と日本の懸け橋になりたい」という想いにより実現した韓国語トライアル講座。毎回テーマを決め会話を通して文化の違いを理解することを目指しています。テーマは身近な親しみやすいものが多いので、韓国語初心者も気軽に参加いただけます。

●通訳・翻訳ボランティア

国際交流プラザには、現在 英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語・ドイツ語・イタリア語・ロシア語・タガログ語・ポルトガル語・ベンガル語・タミル語・タイ語 の通訳・翻訳ボランティアの方が登録しています。

語学力を活かして、在住外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語の分からない方(主に外国籍住民)に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者はおおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードし記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

外国につながる親子のための進路ガイダンスin大分

高校進学について個別相談等を行います（通訳あり）

これから日本で高校進学を考えている方、日本の高校の入学制度や高校生活について知りたい方はぜひご参加ください。

日 時 2019年11月予定

問い合わせ 多文化教育・福祉プロジェクト

(大人権教育ワークショップ研究会) 足立

TEL.090(5085)9860 E-mail:esd.ws.oita@gmail.com

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)
ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本での生活で知っておきたい情報を紹介しています。

●日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20~11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30~20:00

連絡先 097-532-5940 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15~12:00

連絡先 090-7866-2486 大橋

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00~15:30

連絡先 097-527-2614 深田

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00~11:30

連絡先 097-527-2614 深田

③場 所 稲田公民館（大分市）

日 時 毎週水 10:00~11:30

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語楽々トーク！

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00~15:30

連絡先 0977-21-1131 大塚

▶ビービズリンク BIP事業部

場 所 ビービズリンク BIP事業部(別府市APU PLAZA 1F)

日 時 毎週火・水 11:00~12:30 (初級)

13:00~14:30 (中級)

連絡先 0977-23-1119 神(こう)